

唐津西高校

活動実績 No. (30)

活動名	第4回学校運営協議会での生徒会生徒との意見交換
実施日	令和6年2月14日(水)
活動の記録	<p>1. 目的</p> <ul style="list-style-type: none">・教職員や学校運営協議会の委員の方だけではなく、これからの学校について生徒とともに考える場を設定する。・生徒たちが主体的に学校教育へ参加する態度の醸成や、主権者教育の取り組みとしての役割を担う。 <p>2. 内容</p> <p>生徒の方からは、学校の教育活動の中で「将来の仕事について考える機会が増えることができれば明確な見通しをもって進路選択ができる」というキャリア教育を充実させるための意見が出た。それに対して委員の方から「学校運営協議会、振興会、同窓会などが生徒たちの要望に応えるために、プラットフォームのようなものを作ることができれば」というアイデアが提案された。また、そのためには総探だけでなく、他の教科やLHR、ボランティア活動などの課外活動も含めて取り組んでいく必要があるといった視点が出るなど、有意義で活発な意見交換が行われた。</p> <p>生徒会役員の生徒が学校運営協議会へ参加するのは今回が初めての取り組みであったため、事前の打ち合わせが不十分であったことや、時間の関係で意見交換のみの参加であったことなど課題も多かった。しかし、生徒たちの主体性や主権者としての態度を育成していくためにも、引き続きこのような場を設定し、学校と地域の連携や今後の学校教育の在り方について熟議を重ねていきたい。</p>

学校運営協議会で生徒と意見交換する様子

活動実績 No. (31)

活動名	1年生総合的な探究の時間 地域の課題解決・発表会
実施日	令和6年2月27日(火)
活動の記録	<p>1. 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究活動を行うにあたって「誰に伝えるのか」を意識してまとめ、発表する機会を設ける。 ・より専門的なフィードバックを受けることで、次の探究活動に継続性をもたせる。 <p>2. 内容</p> <p>学校運営協議会の委員であり NPO 法人 WeD の運営をされている原雄一郎氏と、その WeD の活動に携わっている慶應大学の学生2名、また高校魅力化アドバイザーの門脇享平氏の4名に対して、1年生の2グループが総合的な探究の時間でまとめた地域の課題とその解決策について発表を行った。</p> <p>この2グループは、解決策がイベントの開催や施設の活用といった内容になることから、関連性のある原氏に対して発表したいとの理由で発表資料をまとめた。</p> <p>1つ目のグループは、旧唐津銀行の観光客が少ないといった課題から、アンケート調査の結果をもとに地下1階のカフェやイベントの活用といった解決策を提案した。2つ目のグループは、海をテーマとした新しい観光地をつくったり、海の家や土曜夜市を復活させたりする解決策を発表した。</p> <p>発表後は、原氏や門脇氏、大学生との意見交換や質問応答が活発に行われ、生徒たちは多くのアドバイスやフィードバックを得ることができた。この発表で得た学びを生かしながら、今後の探究をさらに深めていきたい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>↑ グループで考えた課題の解決について発表する生徒の様子</p>